

入院診療計画書(開心術)

推定される入院期間: 2~3週間

(エンボス)

診断名: _____

症状: _____

治療内容: 冠動脈バイパス術 (大動脈弁・僧房弁)・(形成・置換)術 その他()

入院病棟: _____

項目	日付		月 日		月 日		月 日		月 日			
	入院~手術前		手術前日		手術当日		術直後(集中治療室)		術後翌日			
達成目標	・手術の必要性を理解し合併症の出現なく手術を迎えられる ・手術に関して不安なことやわからないことは質問できる				・安全に治療を受けることができる ・急性循環障害を最小限にすることができる ・術後の合併症(出血・感染・深部静脈血栓など)を起こすことなく過ごせる				・抜管後はリハビリが開始され、安静度が拡大できる ・術後の合併症(出血・感染・深部静脈血栓など)を起こすことなく過ごせる			
説明	・入院診療計画書を用いて病状や今後の治療についてご説明します。 ・各種の検査の説明を行いますので、よく読んでいただき同意のサインの記入をお願いします。 ・安全に過ごせるように抑制の許可を頂くことがあります。		・前日までに用意するものを別紙に記載しています。全てにお名前を記入して下さい。 ・術後に入室する集中治療室の見学を15時頃に行います。				手術後はCCUという集中治療室に入ります。人工呼吸器がつながっており点滴などの様々な機械を装着していますので、全て看護師がお手伝いをします。		痛みなどがある際は遠慮なく看護師にお知らせください。		状態が安定しましたら、一般病棟へ移動となります。	
検査・処置	手術のために必要な検査を行います。(胸部X線、心臓超音波、採血、心電図、頭部CTなど)予定は、検査の前日にお知らせします。術後の感染を予防するためにインジンがいとインジン軟膏で鼻の粘膜の消毒を行います。		爪きり、臍の消毒、足の甲の動脈部位をマークします。		手術の前に、身に付けている指輪や入れ歯などを外して、下着も着ないで術衣へ着替えます。手術室に移動した後に除毛を行います。		・呼吸を助けるために喉に管が入っており、人工呼吸器が付いているため、お話しは出来ません。文字を書いたりできます。鼻からも管が入っています。 ・創部からは余分な排液を出すために管が入ってきます。動脈に管が入っており採血を行います。心電図測定も行います。		・人工呼吸器とつながる管を抜きます創部からの余分な排液が減ってきたら管を抜きます。動脈に入っている管を抜きます。 ・呼吸状態が不安定な時は、マスク型の呼吸器を装着する場合もあります。 ・心電図測定(1週間から10日)、採血(動脈に入っている管を抜いた後は2.3日に1回)、胸部X線・心臓の超音波検査も行います。		退院後は定期的に外来に受診して下さい。かかりつけ医は主治医と相談します。 	
安静	医師の指示通りの安静度を守って下さい。基本的に外出・外泊はできませんが、必要時は医師の許可が必要です。		十分な休息が取れるように睡眠剤が処方されますので、トイレを済ますようにして下さい。		ベッド上での安静が必要な状態であり、尿の管が入っています。看護師が体の向きを変えるお手伝いをします。				尿の管はリハビリの進行状況で外せるようになります。		尿の管が外れた後も尿の量を測定する場合がありますので看護師から説明を行います。	
注射					点滴は首元と腕に入っています。						点滴は徐々に減り内服薬となります。 	
食事 特別な栄養管理の必要性あり	検査などで禁食以外は、病院食を食べられます。それ以外は医師の許可が必要です。		夜9時以降は禁食です。飲水は内服以外は不可です。		禁飲食となります。		鼻の管と点滴からの投与になります。		人工呼吸器が外れ、お腹の動きが確認でき異常がなければ、飲水が開始となります。		お腹に負担の少ないスープ状の食事から開始となります。少しずつ普段の形態に戻していきます。	
内服	普段飲んでいるお薬をお持ち下さい。薬剤師より使用している薬の説明に伺わせて頂きます。		手術前に排便が済ませよう前日の夜に下剤が処方されます。十分な休息が取れるよう、眠前薬が用意されています。		基本的には中止します。 				飲水が開始してから内服を開始します。		医師の指示に沿って、その都度看護師からお薬をお渡します。	
清潔	シャワー浴か入浴ができます。日にちが決まっていますので、説明を行います。		手術前日にシャワー浴か入浴ができます。		ベッド上での安静が必要なので看護師が全てお手伝いして体を拭きます。尿の管が入っているためお湯で洗浄します。				看護師がお手伝いをして身体を拭きます。尿の管が入っている場合は洗浄します。		抜糸後はシャワー浴を行います。初回は看護師がお手伝いしながら行います。	
リハビリ	・術後のために呼吸訓練・痰の出し方や起き上がり方の練習を行います。 ・理学療法士より説明を行います。								術前に行った呼吸訓練を実践し、排痰を行いましょ。		・医師の指示に従い、リハビリが開始されます。 ・早期にリハビリを開始することで術後の回復が早まります。痛みが強い時には鎮痛剤を使用しながら積極的に行いましょう。歩行の練習を行います。状態に合わせて範囲を広げていきます。	
その他	※下記の注1-3と「入院のご案内」を必ずお読み下さい。症状により医療ソーシャルワーカーへの情報提供・ご案内を行います。		【当日面会される御家族へ】手術の30分前までには病室へお越し下さい。手術室入り口までご家族も一緒にご案内いたします。手術中はライブ映像見学をご希望の方は別室へご案内します。見学されない場合はデイルームでお待ち下さい。離れる際には看護師へ声をかけて下さい。貴重品や大きな荷物はお持ち帰り下さい。		※ご家族の方へ術後に医師より説明がありますので、看護師が案内します。面会は2-3名ずつお願いします。 						何か不安なことや退院後の生活でお困りのことがありましたら、ご相談下さい。介護支援に関するお問い合わせは本館1階の医療相談室でも承っております。	

注1 診断名は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものです。
注2 入院期間は、現時点で予想されるものです。
注3 入院費用に関するご質問は、医事課入院受付窓口にお問い合わせ下さい。

2013年11月5日作成
2015年12月26日(第2版)
河北総合病院クリニカルパス委員会

河北総合病院 TEL.03(3339)2121(代) 心臓血管外科

以上説明を受け、理解致しました。

年 月 日

担当医(説明医)

看護師名

ご署名(本人・家族)